

改善報告書

令和7年7月31日

1. 大学名：平成音楽大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1（学生の受入れ）

○音楽学部音楽学科、こども学科の収容定員充足率がそれぞれ0.7倍未満となっている点は、改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

令和4(2022)年12月21日に日本高等教育評価機構における評価チームより、評価報告書案として上記3で示された改善点が指摘された。本学ではその対応について理事会・評議員会にて共有・協議し、計画的な学生募集施策を展開し、改善に取り組んできた。

その結果、令和7年度の収容定員充足率は音楽学科が65%（令和4年度58%）、未来創造学科が87%（令和4年度65%）となり、音楽学部全体で見ると73%（令和4年度61%）と、大幅に改善することができた。

これらの成果は、データを基にした広報戦略、新規分野の開拓、留学生募集強化などが相乗的に効果を発揮した結果であり、今後もこうした取り組みを継続・強化することで、音楽学科においても一層の改善が進むものと見込んでいる。

引き続き、地域のニーズに応じた特色ある教育を推進し、安定した学生確保に向けて不断の努力を重ねていく所存である。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

- ・学部、学科別在籍者数（改善報告書用 ※5年分）

改善報告書

令和7年7月31日

1. 大学名：平成音楽大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：5-3（管理運営の円滑化と相互チェック）

○令和3(2021)年6月28日開催の第2回評議員会を書面で開催している点は改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目 5-3 について

令和3年6月28日の第2回評議員会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面開催が困難であったため、やむを得ず書面開催とした。このことが令和4(2022)年12月21日に日本高等教育評価機構における評価チームより評価報告書案として指摘されたため、それ以降の評議員会はいかなる状況においても対面またはオンラインにより開催することを徹底し、書面では開催していない。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 5-3 の資料

- ・評議員会実施履歴（令和3～7年度）

改善報告書

令和7年7月31日

1. 大学名：平成音楽大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：5-4（財務基盤と収支）

○安定した財務基盤を確立するため、予算管理を厳格に行い、中期事業計画にのっとり学生の確保、私立大学等経常費補助金の増額、外部資金の獲得等により収入増を図りつつ、経費等支出の削減を進めていくなど改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 5-4 について

令和4(2022)年12月21日に日本高等教育評価機構における評価チームより、評価報告書案として上記3で示された改善点が指摘された。本学ではその対応について理事会・評議員会にて共有・協議し、安定した財務基盤の確立に向けて、予算管理の厳格化と収支構造の見直しを着実に実施してきた。具体的には、人件費・光熱費・通信費・警備費などの経費削減に加え、学生数の増加による学納金収入の拡大、寄付金や付随事業による収入の多角化、私立大学等経常費補助金の増額などを積極的に推進してきた。

全国平均と比較して特に高水準であった人件費比率・管理経費比率の数値を抑制したこと、各種施策が効果を上げ収入が増加したことによって、財務状況は上昇傾向にある。特に経常収支差額は大幅に改善し、安定した黒字化に向けて堅調に推移している。

次期中期事業計画（令和7年度～令和11年度）においても同様の取組を推進することによって今後も中長期的な視点で財政の持続可能性を高めていく。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 5-4 の資料

- ・ 計算書類（令和4～6年度）
- ・ 令和6年度 私立大学等経常費補助金に係る「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」の選定結果